



報道発表

令和4年2月16日
東京税関
成田税関支署

令和3年の成田国際空港における不正薬物密輸入事犯の取締り状況

大麻の押収量が過去5年間で最大

～不正薬物の密輸入事犯を25件摘発、下半期で19件～

令和3年中に摘発した不正薬物の密輸入事犯は、摘発件数25件、押収量約96kgであった。内訳は、覚醒剤11件/約73kg、大麻6件/約21kg、麻薬7件/約1kg、指定薬物1件/約0.15kgであった。

◎覚醒剤密輸入事犯の動向

- ◆ 覚醒剤密輸入事犯の摘発件数は11件（前年比：約78%）、押収量は約73kg（前年比：約88%）であった。
- ◆ 密輸形態別では、航空機旅客による摘発件数は2件、押収量は約34kgであり、航空貨物による摘発件数は9件、押収量は約39kgであった。
- ◆ 覚醒剤の仕出地は、タイ3件、マレーシア及びアメリカ各2件、パキスタン、アラブ首長国連邦、トルコ、南アフリカ各1件であった。
- ◆ 隠匿手口は、食品やお土産（化粧箱）、玩具内に隠匿するなど巧妙なものであった。

◎大麻密輸入事犯の動向

- ◆ 大麻密輸入事犯の摘発件数は6件（前年比：約35%）、押収量は約21kg（前年比：約251%）であった。うち、液状大麻等の摘発件数は5件（全体65%）、押収量は約21kg（全体約99%）を占めており、液状大麻等の割合が増加傾向にある。
- ◆ 隠匿手口は、缶詰やシャンプー等のプラスチックボトル内に隠匿・偽装するなど巧妙なものがあつた。

◎麻薬密輸入事犯の動向

- ◆ コカイン密輸入事犯の摘発件数は3件（前年比：約50%）、押収量は約1kg（前年比：約9%）であった。
- ◆ 隠匿手口は、段ボール側面内に隠匿、食品（プラスチックボトル）に偽装するなど巧妙なものがあつた。

1. 成田国際空港における密輸事犯摘発状況一覧表

社会悪事犯		平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	
						前年比	
覚醒剤	件数	68	45	144	14	11	78.6%
	押収量(kg)	164	60	394	83	73	88.6%
	押収量(千錠)	0	0	-	0	-	全減
大麻 (樹脂含む)	件数	15	17	14	17	6	35.3%
	押収量(kg)	5	3	12	8	21	251.3%
あへん	件数	0	0	0	0	0	-
	押収量(kg)	-	-	-	-	-	-
麻薬	件数	3	15	27	7	7	100.0%
	押収量(千点)	0	11	37	-	0	全増
	押収量(kg)	3	16	26	11	1	9.2%
ヘロイン	件数	0	0	0	0	0	-
	押収量(kg)	-	-	-	-	-	-
コカイン	件数	1	8	15	6	3	50.0%
	押収量(kg)	3	14	26	11	1	8.7%
MDMA	件数	1	3	6	0	1	全増
	押収量(千錠)	0	11	37	-	0	全増
	押収量(kg)	-	0	0	-	-	-
その他麻薬	件数	1	4	6	1	3	300.0%
	押収量(千点)	-	0	-	-	-	-
	押収量(kg)	0	2	0	0	0	30倍
向精神薬	件数	1	1	0	0	0	-
	押収量(千錠)	-	3	-	-	-	-
	押収量(kg)	0	-	-	-	-	-
指定薬物	件数	1	16	5	1	1	100.0%
	押収量(kg)	0	0	7	0	0	696.3%
合計	件数	88	94	190	39	25	64.1%
	押収量(kg)	172	80	432	103	96	93.2%
	押収量(千点)	0	14	37	0	0	125倍
銃砲類	件数	1	0	0	0	0	-
	押収量(丁)	1	0	0	0	0	-
総摘発件数		89	94	190	39	25	64.1%

* 1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。

2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計数量を示す。

3. 大麻は、大麻草及び大麻樹脂等(液状大麻等の大麻製品を含む)の合計を示す。

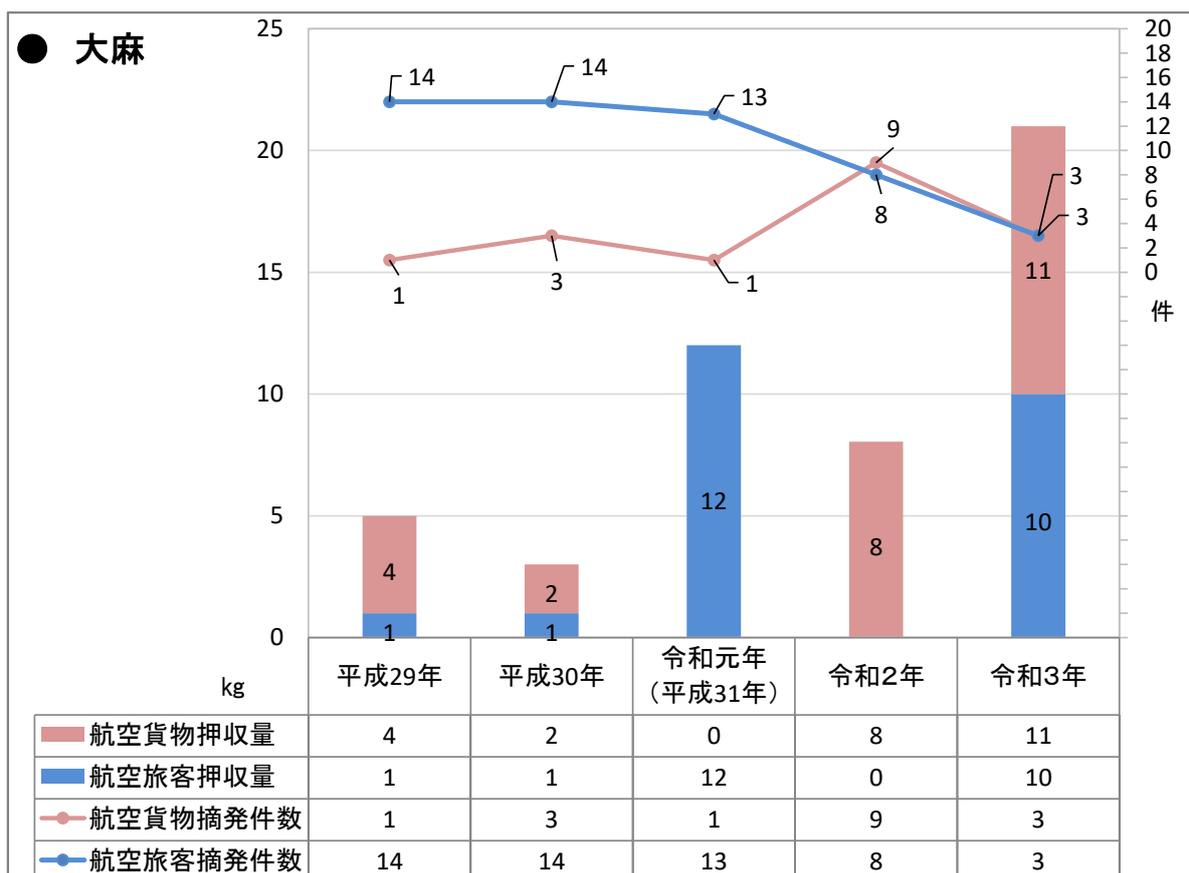
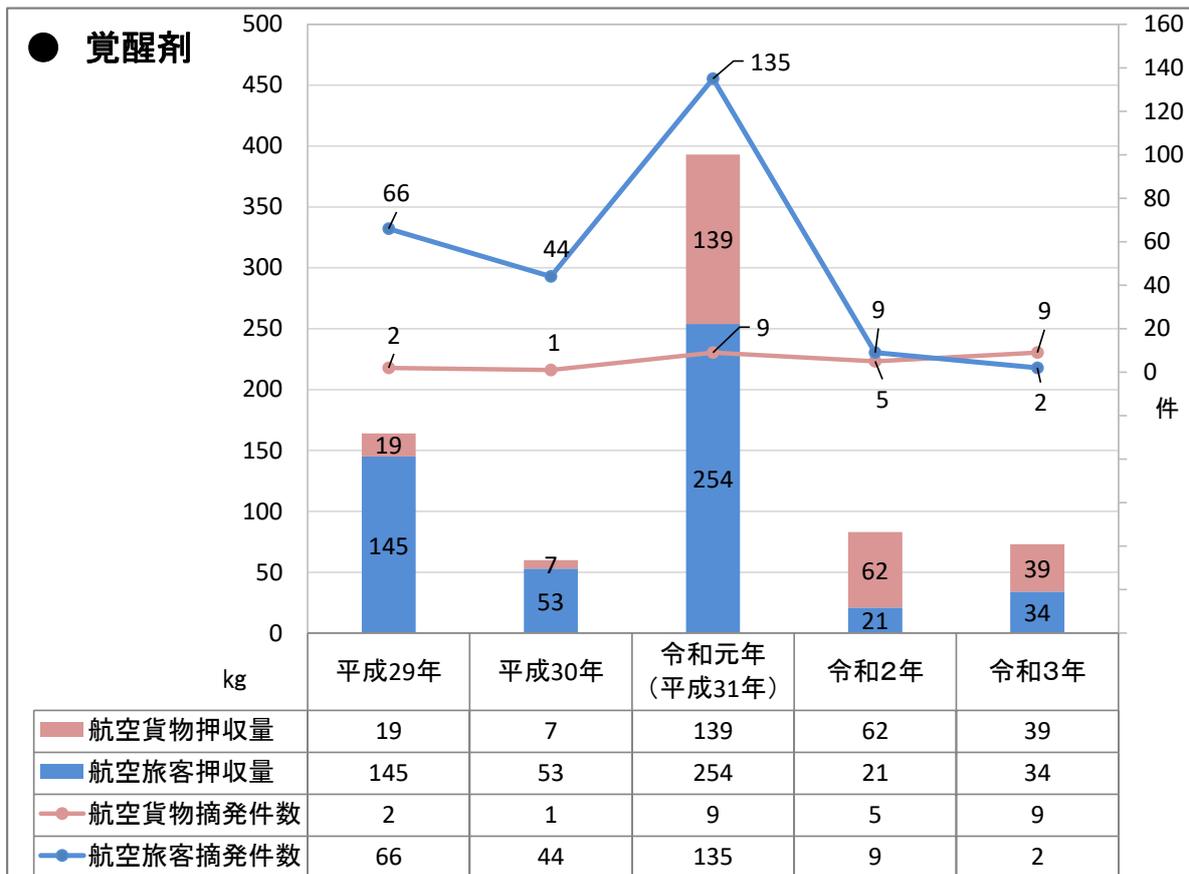
4. MDMAは、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。

5. 重量は、小数点以下を四捨五入した。

6. 令和3年の数値は速報値である。

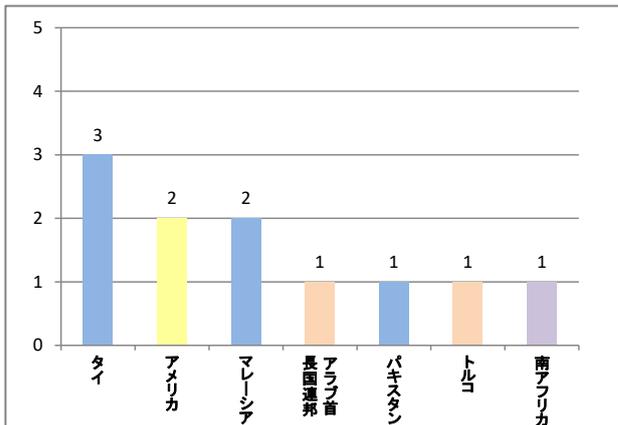
7. 薬物の数量表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
また、端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

2. 形態別摘発状況(推移)



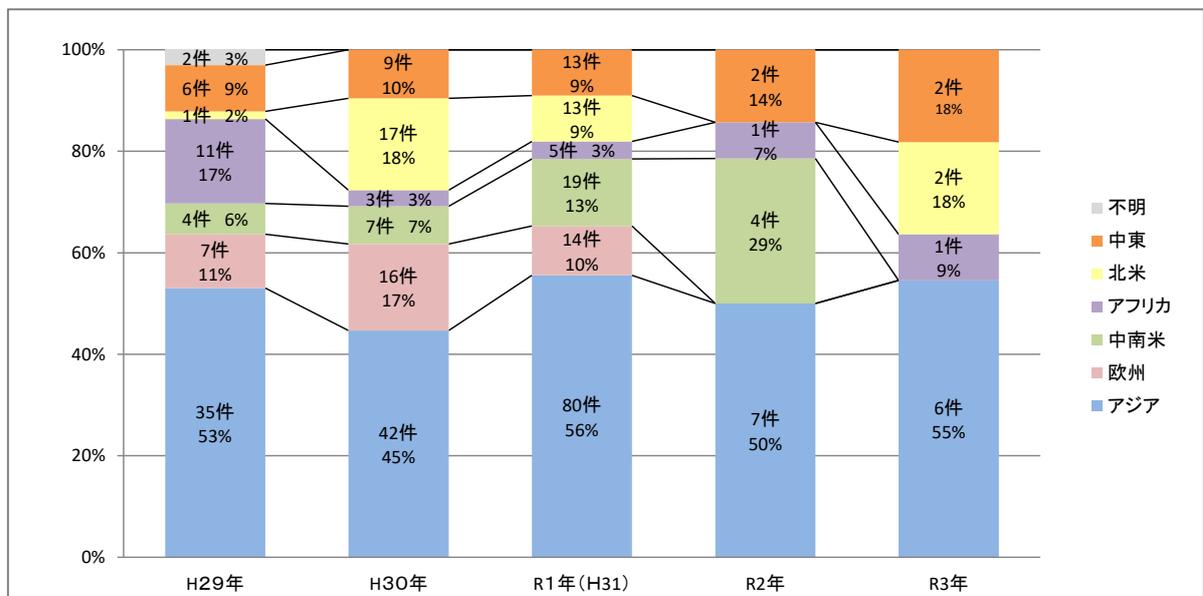
3. 覚醒剤の仕出地別摘発状況

●令和3年仕出地別摘発件数

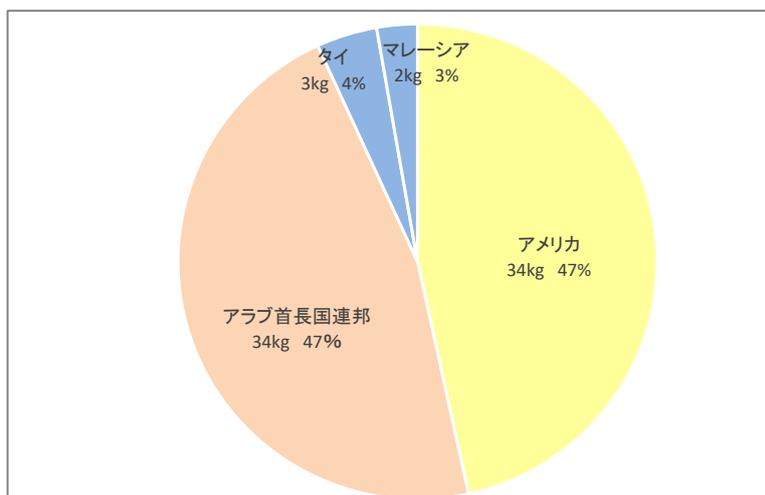


地域	国	件数
アジア (3か国・6件)	タイ	3
	マレーシア	2
	パキスタン	1
中東 (2か国・2件)	アラブ首長国連邦	1
	トルコ	1
北米	アメリカ	2
アフリカ	南アフリカ	1
合計		11件

●仕出地別摘発件数の推移



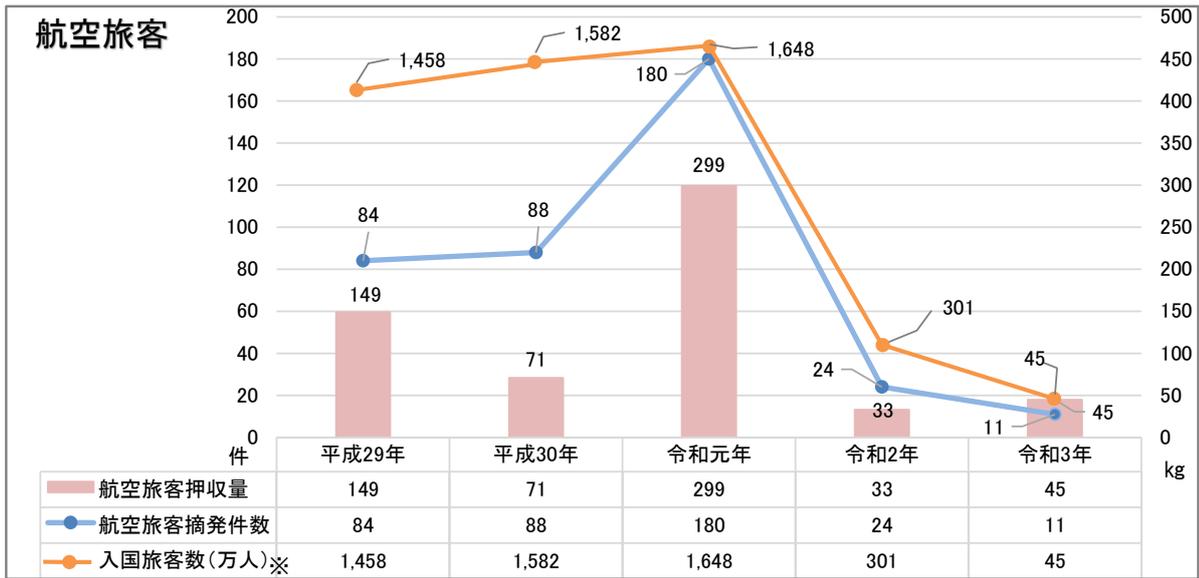
●仕出地別押収重量



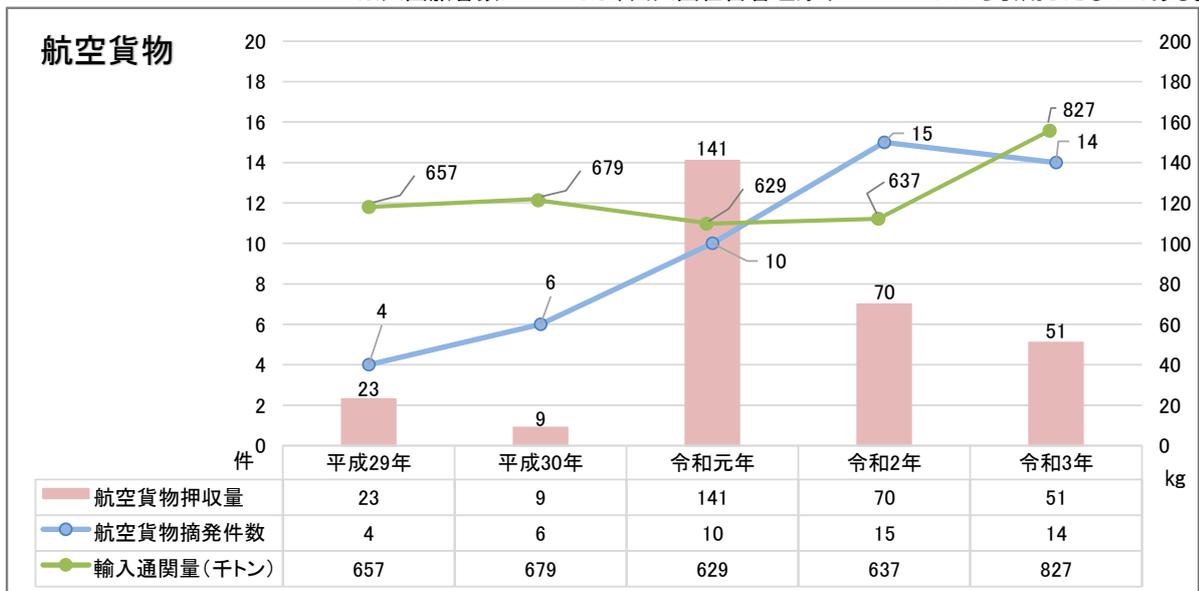
地域	件数	総重量 (kg)
アメリカ	2件	34
アラブ首長国連邦	1件	34
タイ	3件	3
マレーシア	2件	2
パキスタン	1件	鑑定中
トルコ	1件	鑑定中
南アフリカ	1件	鑑定中

4. 形態別不正薬物摘発状況

●形態別不正薬物摘発状況(推移)及び入国旅客数・輸入通関量

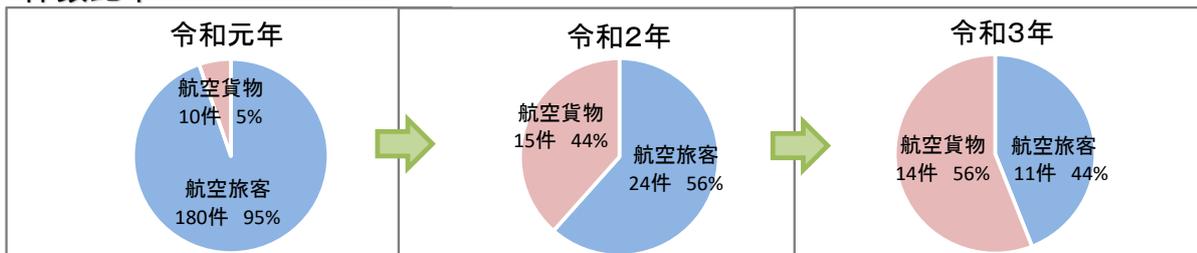


※入国旅客数については、出入国在留管理庁ホームページから引用したものである。

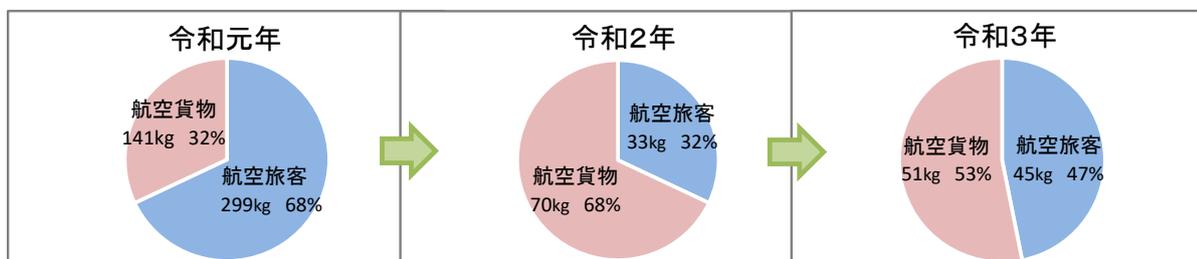


●年別件数及び重量の比率

件数比率



重量比率



5. 大麻の形態別摘発状況(前年比)

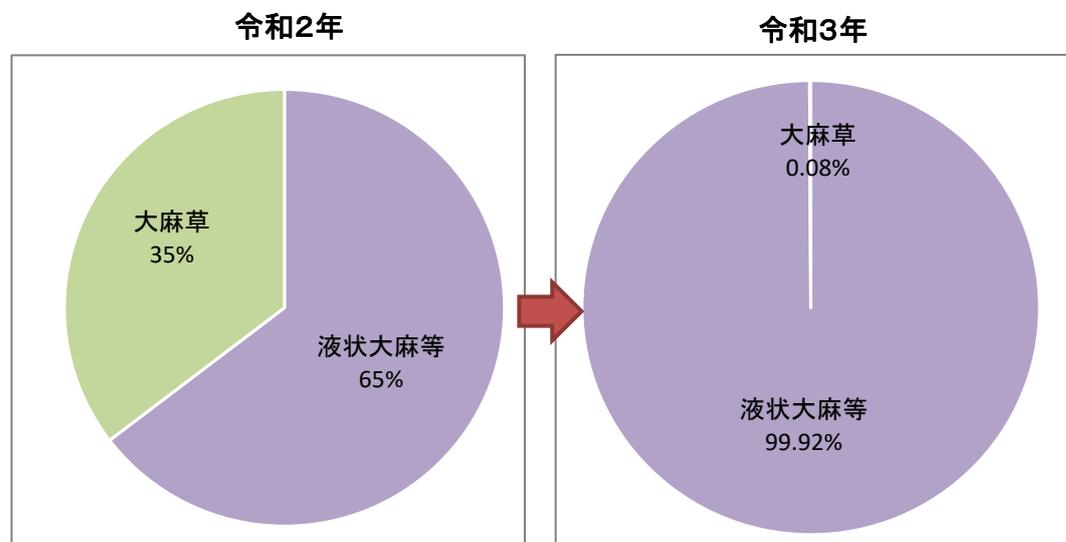
●大麻の形態別摘発状況

	令和2年		令和3年		前年比	
	件数	数量(kg)	件数	数量(kg)	件数	数量
航空旅客	8	0	3	10	37.5%	25349.8%
航空貨物	9	8	3	11	33.3%	135.7%
合計	17	8	6	21	35.3%	251.3%

●液状大麻等の形態別摘発状況

	令和2年		令和3年		前年比	
	件数	数量(kg)	件数	数量(kg)	件数	数量
航空旅客	5	0	2	10	40.0%	41852.5%
航空貨物	7	5	3	11	42.9%	209.9%
合計	12	5	5	21	41.7%	388.5%

●液状大麻等の占める割合(押収量)



6. 令和3年の密輸事犯の隠匿事例

①覚醒剤

【隠匿事例1】

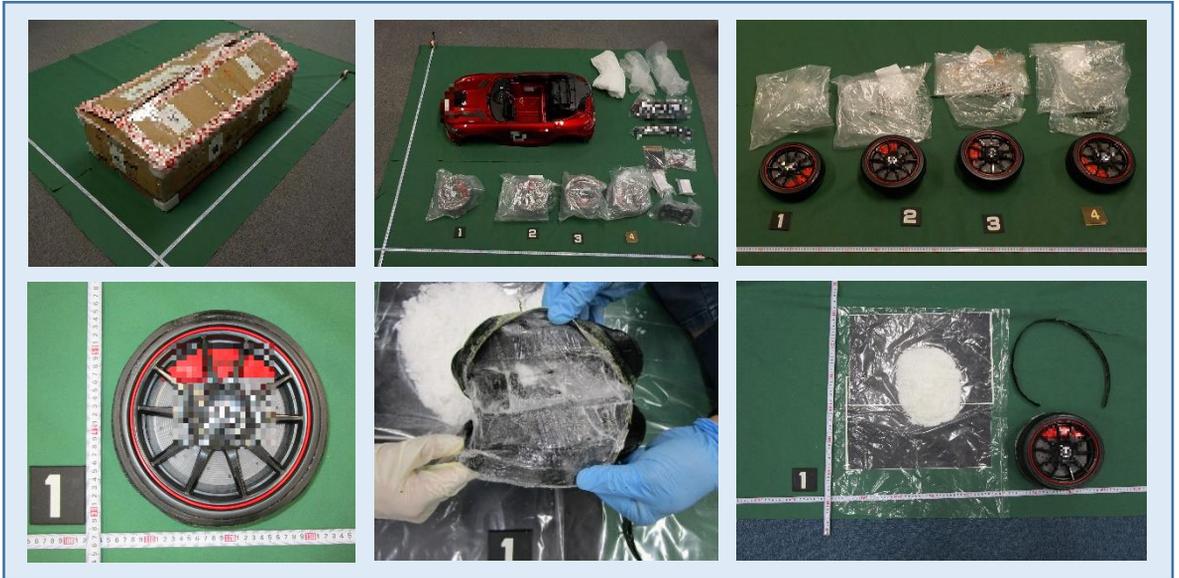
タイ来航空貨物から食品に偽装されていた約1kgの覚醒剤を発見。
(令和3年10月)



①覚醒剤

【隠匿事例2】

マレーシア来航空貨物から玩具内に隠匿されていた約2kgの覚醒剤を発見。
(令和3年11月)



【隠匿事例3】

アメリカ来旅客の紙製箱内に隠匿されていた約25kgの覚醒剤を発見。
(令和3年12月)



②覚醒剤及び大麻

【隠匿事例4】

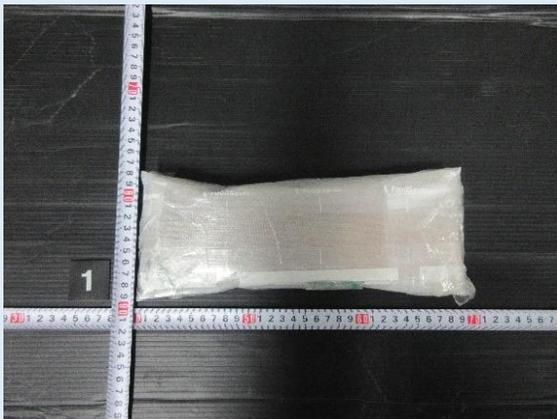
アメリカ来旅客の紙製箱内に隠匿されていた約10kgの覚醒剤及びプラスチックボトル内に隠匿されていた約7kgの液状大麻を発見。(令和3年12月)



③ 大麻

【隠匿事例5】

アメリカ来旅客からスーツケース内に隠匿されていた約3kgの大麻を発見。
(令和3年4月)



③ 大麻

【隠匿事例6】

アメリカ来航空貨物から缶詰内に隠匿されていた約3kgの液状大麻を発見。
(令和3年6月)



④ コカイン(麻薬)

【隠匿事例7】

オランダ来航空貨物から段ボール側面内に隠匿されていた約1kgのコカインを発見。
(令和3年10月)



⑤その他の麻薬

【隠匿事例8】

ベトナム来旅客からプラスチックボトル内に隠匿されていた約250錠のMDMA及び約50gのケタミンを発見。(令和3年3月)

